

5年生 民泊体験活動を実施しました。!!

小学校・義務教育学校5年生の「北広島ふるさと夢プロジェクト」は、民泊体験活動です。この民泊体験活動も、今年で11年目を迎えました。自然の中で様々な方と関わり、協力した体験は、貴重な財産となり、郷土を愛する心と生きる力の育成につながっています。

今年度も、関係する皆様の多大なご尽力により、町内の5年生が2泊3日の民泊体験活動を実施することができました。

民泊体験活動のねらい

- 自然の中での共同体験を通して、課題解決する力や協働する力を養う。
- 町内の自然を生かした体験活動や民泊等の地域の方とのふれあいを通して、ふるさとの良さを実感させる。

基本メニュー

1日目 開会、他校と交流
民泊先家庭との対面
民泊先家庭での民泊体験活動



2日目 八幡湿原ウォークラリー
※芸北小は豊平でそば打ち体験・藍染体験
民泊先家庭での民泊体験活動

3日目 民泊先家庭とお別れ
大暮養魚場に移動してアマゴのつかみ取り体験
閉会、各学校へ移動



A 令和7年7月23日～令和7年7月25日

2日目は、芸北高原の自然館の山麓庵を出発点にして、牧野富太郎博士の句碑や霧ヶ谷湿原を巡るウォークラリーを実施しました。



八重東小



八重北小



芸北ならではの豊かな自然を味わいながら、グループのみんなと協力して、たくさんのミッションをクリアすることができました。



大暮養魚場では、自分でつかみ取りした魚を下処理しました。命のありがたみを感じました。

「捕まえる」「下処理をする」「焼いて食べる」すべて自分たちで行いました。普段ご飯を普通に食べていることは決して当たり前ではないということに気づくことができました。

B 令和7年7月29日～令和7年7月31日



芸北小



民泊家庭では、ジビエのハンバーグやウインナーづくりに挑戦しました。初めてのことで貴重な体験をたくさんさせていただきました。



民泊家庭では、料理を教えていただき、友達と料理を作りました。みんなで作った料理は最高においしかったです。



そば打ち体験は初めてでした。そば道場の方がとても丁寧に教えてくださりおいしいそばができました。



大暮養魚場では、アマゴのつかみ取りをしました。みんなあっという間に捕まえることができました。



3、4年生の時、火起こし体験をしていたので、まず、木を組んで、マッチ1本で火を起こすことができました。

北広島ふるさと夢プロジェクト(小5)「民泊体験」
～北広島の自然を満喫しよう～



民泊家庭では、これまでに経験したことのないことをたくさん体験させていただきました。準備をしていたいたことに感謝です。お別れの時には少し寂しくなりました。

C 令和7年8月20日～令和7年8月22日



壬生小



本地小



2日目に八幡地域に行き、ウォークラリーをしました。仲間と励まし合いながら様々なミッションをクリアすることができました。



大暮養魚場では、民泊で初めて出会った友達とも協力して川魚のつかみ取りや下処理、火起こしに挑戦しました。「命をいただく」ことへのありがたさを感じながら、美味しくアマゴを食べました。



民泊先家庭では、いろいろな体験活動を用意していただきました。夕食づくりでは、野菜の収穫から調理をさせていただき、おいしさを感じることができました。

ヤマメとアマゴが混ざらないように、放流する川を分けていることや、チョウザメの飼育への挑戦など、大暮養魚場の魅力を施設の方から詳しく教わることができました！

D 令和7年8月27日～令和7年8月29日



大朝小



豊平学園



八幡地域に行き、ウォークラリーをしました。様々なミッションにチャレンジする中で、仲間と協力する大切さや芸北の自然の豊かさを学ぶことができました。



大暮養魚場では、アマゴのつかみ取りをしました。下処理をし、焼いて食べました。苦労したぶん、とてもおいしかったです。



民泊家庭では、夕食を協力して作ったり、キーホルダーを作ったりなど、各家庭でたくさんの体験をすることができました。



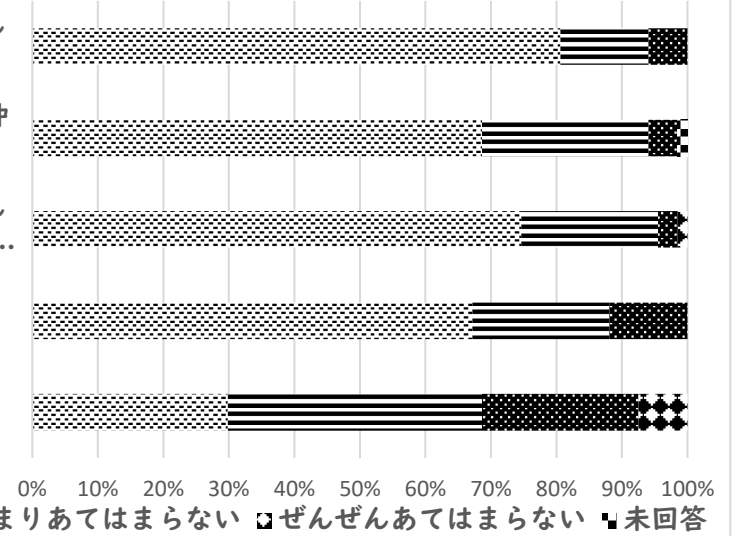
お別れ式では、一緒に過ごした3日間を振り返りながら、感謝の気持ちを伝えとともに、また伺いたいと名残を惜しんでいました。

民泊体験活動を終えて

○体験を終えてのアンケート（北広島町内全5年生）

5年生 夢プロ民泊活動後のアンケート

- (1)ふるさと夢プロジェクト（民泊体験）に参加して良かった。
- (2)ふるさと夢プロジェクト（民泊体験）の中で、仲間と協力して活動を行うことができた。
- (3)ふるさと夢プロジェクト（民泊体験）を通して、ふるさと北広島町の良さを実感することができた。
- (4)ふるさと北広島町が好きになった。
- (5)将来、北広島町に住みたいと思う。



○アンケート結果から

- ・「参加してよかった」「仲間と協力して活動を行うことができた」「ふるさと北広島町の良さを実感することができた」の項目については、肯定的な回答が90%を超え、ほとんどの児童が体験活動を通して仲間とのつながりや北広島町の良さを再認識するなど活動の成果が見られました。



○子どもたちの主な感想

- ・民泊家庭で、野菜の袋詰めをしたことが楽しかったです。また、北広島町でできる野菜はとても美味しいことがわかりました。
- ・親は大変なことを毎日やっているとだったので民泊でやったように手伝ってあげたいです。
- ・田舎体験をしてみて、自然の大切さや、自然に恵まれていることを改めて知りました。自然のものを探したりすることで普段気にしない自然も、魅力的に見えてきました。
- ・私が、普段あまりしない料理づくりをみんなで協力して頑張ることができて良かったです。
- ・豊平学園の人とは、あったことがなかったけれどいろいろなクイズをみんなで解いたりして豊平学園さんと仲を深めることができたことが心に残りました。
- ・八幡ウォークラリーでどこにどんな施設があってどんな歴史があるのかを知ることができました。
- ・魚のつかみ取りで、命の大切さを改めて知りました。

民泊を経て、一段とたくましくなった子どもたちを見て、うれしく思いました。本活動に関わってくださったすべての皆様に改めて感謝申し上げます。次年度も本事業が子どもたちにとって“ふるさとの良さ”を再発見できる機会となるよう引き続き取り組んでいきたいと思ひます。

